

# 「ふくすいき ~福水企~」通信

平成30年6月号



企業団キャラクター  
ピュータくん

この「ふくすいき~福水企~」通信は、福岡地区水道企業団、各構成団体などの情報交換のために毎月発行しています。

発行：福岡地区水道企業団 総務課  
福岡市南区清水四丁目 3-1  
TEL 092-552-1731(代)

## ■ 企業団・構成団体の動き

### ● 採水実務研修会【開催しました】〔4/26（木） 水質センター〕

当企業団水質センターにおいて、構成団体に採水実務を担当されている方を対象に採水実務研修会を開催しました。

参加者は、水質基準や採水する際の注意点などについての講習を受けた後、実際に使用する容器を使って採水の実習を行いました。12団体から28名の参加があり、皆さんとても熱心に受講されました。

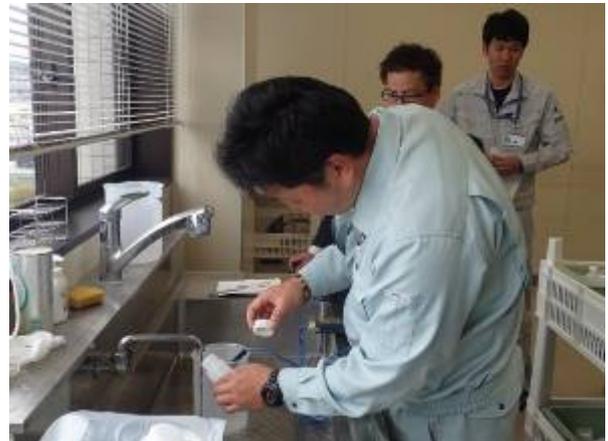
水道水の検査においては、測定項目ごとに採水容器や採水方法が異なります。短い時間ではありましたが、講義や実習を通して採水の重要性や採水する際のポイントなどを理解していただけたかと思えます。

参加された皆さま、お疲れさまでした。

<水質センター 藤井>



講義の様子



採水実習の様子

### ●小石原川ダム定礎式【出席しました】〔5/12（土） 小石原川ダム〕

小石原川ダムは、洪水調節、流水の正常な機能の維持などを目的に、独立行政法人水資源機構が朝倉市及び東峰村で建設を行っている多目的ダムです。

このたび、ダム本体の本格的な工事に取りかかることから、平成 30 年 5 月 12 日に定礎式が盛大に行われ、当企業団からは <sup>いさやま</sup> 諫山 企業長が出席しました。礎石搬入や地元小中学生がメッセージを記したメモリアルストーンの埋納、くす玉割りなどが行われ、参加者全員で工事の安全と早期の完成を祈念しました。

＜総務課 中川＞



礎石搬入



くす玉割り

### ●第 14 回粕屋町バラまつり〔5/13（日） 粕屋町〕

粕屋町では、毎年 5 月に <sup>かよいちょう</sup> 駕与丁 公園内にあるバラ園でバラまつりを開催しています。園内には、180 種 2400 株のバラが咲き、まつり当日は、例年ステージイベントやバラ苗販売、また出店が並び町内外から多数の来園者で賑わいます。

今年のバラまつりでは、粕屋町上下水道課が P R 活動を行い、当企業団もアルミ缶ボトル「ふくおかの水」を提供しました。

当日はあいにくの天気で、ステージイベント等が中止となりましたが、四季折々の自然の豊かさを体験できる同公園では 10 月中旬から 11 月上旬にかけてもバラは見ごろを迎えます。ぜひご鑑賞ください。

＜総務課 中川＞



駕与丁公園の花壇



粕屋町上下水道課 PR コーナー

●平成 30 年度福岡地区水道企業団及び構成団体の新任職員研修の実施【開催しました】

〔5/16（水）・17（木）牛頸浄水場ほか〕

今年度、当企業団が採用した職員や構成団体の水道担当課に転入された職員を対象に、企業団の事業内容や関連施設への理解を深めてもらうため、新任職員研修を2日間にわたって実施し、構成団体から39名（10団体）、当企業団22名、計61名の参加がありました。

1日目は、企業団各所属の業務説明の後、大野城市にある牛頸浄水場及び水質センター、福岡市東区にある海水淡水化センターを視察。

2日目は、当企業団技術専門員による講演「筑後川～水の歴史～」の後、福岡導水を維持・管理している独立行政法人水資源機構の筑後大堰管理室及び福岡導水管理室にて業務の説明を受け、それぞれの施設を視察しました。

＜総務課 志藤＞



各所属による業務説明



福岡導水の導水管模型

●平成 30 年度九州各市監査委員会定期総会【出席しました】

〔5/24（木）・25（金） 沖縄県那覇市〕

今年度、第 69 回九州各市監査事務局長会定期総会及び第 70 回九州各市監査委員会定期総会が開催され、うちこしちとやす 打越 基安 代表監査委員（福岡市議会議員）、きたざきかずひろ 北崎 和博 監査委員（新宮町議会議長）ほか事務局 2 名が出席しました。

総会では、研究課題 8 件についての発表、表彰及び会務報告等が行われ、「地方自治法の改正に伴う監査制度の見直しについて」、「地方公会計の推進と地方公営企業の法適用の拡大」をテーマにした講演もありました。

＜総務部 御幡＞

●全国水道企業団協議会第62回総会【出席しました】〔5/24(木)・25(金) 神奈川県箱根町〕

全国の水道企業団等から会員約160名が出席し、全国水道企業団協議会の総会（担当：関東地区協議会）が開催されました。当企業団からは、諫山企業長ほか職員1名が出席しました。

総会では、広域水道の普及発展等への功績をたたえ、<sup>えんどうこうじ</sup>遠藤 公 治 岡山県南部水道企業団前事務局長ほか7名の方に会長表彰が授与されました。

会議では、会務報告、平成29年度決算、平成30年度予算等の議題のほか、会員提出問題の審議が行われ、以下の14項目が国に要望されることになりました。



総会の様子

- ・水道事業に対する財政支援の拡充及び要件の緩和等について
- ・水道施設の再構築事業等に対する新たな財政支援体制の確立について
- ・水道事業の新たな広域化のための財政支援等について
- ・簡易水道事業統合に対する財政支援について
- ・再エネ・省エネ機器の導入促進に向けた柔軟な制度運用について
- ・交付金の一部事務組合への直接交付について
- ・公的資金補償金免除繰上償還制度及び公営企業借換債制度の復活について
- ・地方公営企業繰出制度の法制化及び拡充等について
- ・水道施設の災害対策に対する財政支援等について
- ・水利権制度の柔軟な運用について
- ・水源地域における関係機関の連携及び財源措置について
- ・地下水利用専用水道の揚水規制に係る法整備について
- ・クリプトスポリジウム等に関する対策の推進及び財政支援について
- ・電磁式を含む水道メーターの検定有効期間の延長について



相模大堰

その後、<sup>ひおきしゅんいち</sup>日置 潤一 厚生労働省水道課水道計画室長 から「水道行政の動向」について、<sup>もとしまえいじ</sup>本島 栄二 総務省公営企業課公営企業経営室長から「水道事業経営の現状と課題」について説明がありました。

また、総会翌日は、神奈川県内広域水道企業団の<sup>しゃげ</sup>社家 取水管理事務所、広域水質管理センターを視察し、相模大堰や水質を守る広域的な取り組みについて説明を受けました。

<総務課 玉井>

●第 60 回水道週間の取り組みについて〔6/1（金）～7（木）〕

水道週間は、厚生労働省、地方公共団体の水道事業体等によって実施される様々な広報活動等を通して、国民各層に対して、水道の現状や課題について理解を深め、今後の水道事業の取組について協力を得ることを目的として、毎年 6 月 1 日～7 日に実施されています。60 回目を迎える今回についても、構成団体において、下記をはじめとする様々な取り組みが行われました。



博多駅前ほかでの PR  
(福岡市)



イオン大野城 SC 前での PR  
(大野城市 ※当企業団と共催)



まどかぴあでのパネル展示  
(大野城市 ※当企業団と共催)



太宰府市役所でのパネル展示



JR 春日駅前ほかでの PR  
(春日那珂川水道企業団)



JR 二日市駅前ほかでの PR  
(筑紫野市)



古賀市役所前でののぼり旗



古賀市役所口ビーでの PR



糸島市役所の懸垂幕

当企業団では、今回の水道週間を機に、自動車用マグネットステッカー、のぼり旗、PR 用ティッシュを作成し、大野城市と共催で PR 活動を行いました。今後とも構成団体の広報活動に協力してまいりますので、イベント等の企画がございましたらお気軽にご相談ください。 <総務課 中川>



マグネットステッカー



のぼり旗



PR 用ティッシュ

● 東隈 浄水場の視察〔6/4（月）・6（水）春日那珂川水道企業団 東隈浄水場〕

6月4日、6日に当企業団の企業長以下の職員30名が平成30年3月に改良事業が完了した春日那珂川水道企業団の東隈浄水場を視察しました。

東隈浄水場は、昭和43年に創設され、40年余りが経過し老朽化が進んだため、老朽化対策及び耐震化対策、水源水質に起因する異臭味対策を行うため、新たに粉末活性炭処理や膜ろ過方式による浄水処理を導入した施設です。

膜ろ過の仕組みなどについて丁寧なご説明をいただき、大変参考になりました。お世話いただきました櫻井事務局長をはじめ、春日那珂川水道企業団の皆様にご感謝申し上げます。〈総務課 田子森〉



ビデオによる説明



中央監視室

## 膜ろ過処理の仕組み

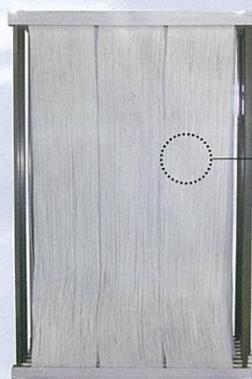
非常に微細な孔（公称孔径 $0.05\mu\text{m}$ ）を糸の表面に持つ「中空糸膜」で、細菌や濁りの成分を除去する方法です。清澄な浄水は中空糸内部を流れます。「中空糸膜」の内側から外側に向かって洗浄水を流し、膜面に付着した濁質を排除することで、目詰まりを起こすことなく膜の性能を維持します。東隈浄水場では、「中空糸膜」を何本も収納した膜ろ過装置を、槽内に浸漬させたまま処理する、「槽浸漬型」の処理方式を採用しています。

### 膜ろ過装置

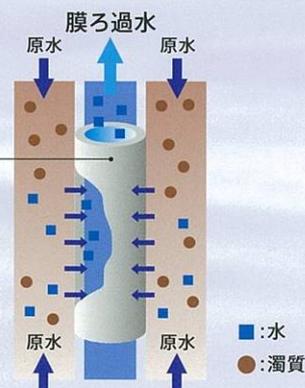


### 中空糸膜による「ろ過」の仕組み

中空糸膜の外側から内面へ原水を通水し、膜内部にろ過水を流す「外圧式」のろ過方式です。



膜エレメント



春日那珂川水道企業団 東隈浄水場パンフレットより

●夏休み施設見学会【参加者募集】〔7/28(土) 東隈浄水場・海水淡水化センター〕

春日那珂川水道企業団との共催で、約5年の改良工事を終え、膜ろ過方式を導入した春日那珂川水道企業団の東隈浄水場と当企業団の海水淡水化センターの施設見学会を開催します。

夏休みの自由研究として、参加してみませんか？

参加希望の方は、下記によりお申し込みください。

<総務課 原田>

- 1 日 時 平成30年7月28日(土) 9時~15時30分
- 2 場 所 東隈浄水場(那珂川町東隈1-9-1)  
海水淡水化センター(福岡市東区大字奈多1302-122)  
※集合・解散は下記のいずれか。両施設とも駐車場あり。  
・春日那珂川水道企業団(9:00集合 15:30解散予定)  
(春日市原町2-30-2)  
・東隈浄水場(9:20集合 15:00解散予定)
- 3 定 員 40名(応募多数の場合は抽選)  
※当選者のみ7月18日(水)までに通知。
- 4 対 象 春日市、那珂川町に住む小学生(4年生以上)と保護者。(1組4名まで)
- 5 参 加 費 無料(昼食・飲み物をご持参ください。)
- 6 内 容 ①東隈浄水場見学  
②海水淡水化センター見学 ※貸切バスで移動します。
- 7 応 募 方 法 ハガキ, FAX, E-mailに代表者の住所・電話番号と参加者全員の氏名(ふりがな), 年齢, 学年, 希望の集合場所を記入のうえ, 下記まで。
- 8 締 切 平成30年7月11日(水) (必着)
- 9 申 込 み 〒815-0031 福岡市南区清水4-3-1  
問い合わせ 福岡地区水道企業団総務課  
TEL 092-552-1731 FAX 092-552-1729  
E-mail kouhou@f-suiki.or.jp



## ■ 水源地域との交流事業

### 実施レポート

#### ● 第51回津江山系釈迦連峰山開き【参加しました】〔5/13（土）大分県日田市前津江町〕

日田市前津江町の「スノーピーク奥日田キャンプフィールド（椿ヶ鼻ハイランドパーク）」で、第51回津江山系釈迦連峰山開きが、前津江町まつり実行委員会の主催により行われました。

当日は、時折雨が降る中、原田啓介<sup>はらだけいすけ</sup>日田市長や大分県・日田市議会議員、日田市観光協会、水資源機構職員、当企業団から橋本<sup>はしもと</sup>副企業長以下6名の職員などのほか、地元の方々や登山者など、多くの人が来場されました。

山開きは、初めに山の安全を祈願する神事が行われ、式典では原田市長をはじめ来賓の方々から、この地域が筑後川の水源であり、水源を守ることの重要性や自然豊かな前津江に多くの人に来ていただきたいなどの挨拶がありました。

その後、来場者は、勇壮な前津江浦和太鼓<sup>うらわたいこ</sup>や日田市内の日隈<sup>ひのくま</sup>小学校金管バンド、藤蔭<sup>とういん</sup>高等学校吹奏楽部の演奏などのアトラクションを楽しみながら、地元出店のジビエ料理や焼きそばなどで昼食をとったり、地元の農産品などが当たる抽選会などで、楽しいひとときを過ごされていました。

また、当企業団は、今回の行事を記念してコナラの植樹を行いました。 <総務課 田子森>



山開き会場の出店



山の安全を祈願する神事



日田市長の来賓あいさつ



副企業長の音頭による万歳



日隈小学校金管バンドの演奏



コナラ記念植樹

●水源地「うきは」体験事業【開催しました】〔5/19（土）うきは市山春地区ほか〕

福岡都市圏の水源地であるうきは市で、水の大切さを学ぶと共にうきは市の歴史や自然にふれることを目的として、福岡都市圏広域行政事業組合の主催（当企業団共催）により「水源地“うきは”体験事業」を開催し、福岡都市圏にお住まいの76名の皆さんと長野水神社、山春地区、楠森川北家、清水寺を訪ねました。

長野水神社は、江戸時代に筑後川の大石堰・長野用水の完成に尽力した5人の庄屋を祀っているもので、熊抱宮司から現在も筑後川の水を導水し、田畑を潤していることなどの説明を受けました。

参加者は、山春地区の茶畑では、お茶農家の方の手ほどきで、茶摘み、摘んだ茶葉の釜炒りや手もみ、粉茶を作る石臼引きなど、貴重な体験ができました。茶畑の中の広場で、うきは名物「ほっこり弁当」をいただいたあと、国指定登録有形文化財の楠森川北家住宅や清水寺の湧水を見学、「にじの耳納の里」でのお買い物などで楽しまれました。

本事業の実施にあたり、ご協力いただきましたうきは市ブランド推進課の皆さまに厚く御礼申し上げます。

＜総務課 田子森＞



長野水神社



茶摘みの様子



茶葉の手もみ



粉茶づくり



楠森川北家の見学



清水寺の湧水

## ●第46回江川水源祭【開催されました】〔6/2（土）朝倉市江川ダムほか〕

朝倉市の江川ダムにおいて、ダム建設に協力された方々への感謝の意を表するとともに、施設の安全と今年の豊水を祈念して、江川水源祭実行委員会（朝倉市、両筑土地改良区、福岡市水道局、独立行政法人水資源機構、福岡地区水道企業団）が主催する「江川水源祭」が開催されました。

ダム堤体で行われた式典には、<sup>はやしゅうじ</sup>林裕二朝倉市長をはじめ、地元関係者、両筑土地改良区理事長、福岡市水道事業管理者、水資源機構筑後川局長、関係機関の代表者、当企業団の諫山企業長など約50名が出席し、清酒注ぎの式が厳粛に執り行われました。

6月2日現在の江川ダム貯水率は、98.7%と満水に近い状態ですが、夏場の水需要本番を迎えるにあたって豊水を祈念しました。

＜総務課 田子森＞



ほぼ満水の江川ダム



朝倉市長の清酒注ぎ



企業長の清酒注ぎ

## 6月，7月の予定

### ●千年の森下草刈り【開催されます】〔7/25（水）大分県玖珠町伐株山<sup>きりかぶ</sup>〕

筑後川上流域の大分県玖珠町伐株山の「千年の森」において、有明海に豊かな水が流れるように願い、玖珠町キャラバン隊（事務局：玖珠町まちづくり推進課）の主催により、水源林の下草刈りが行われます。

詳細は後日ご案内いたしますので、構成団体から多くの職員の皆さまの参加をお願いします。＜総務課 田子森＞

日 時 平成30年7月25日（水）

9:00～13:00（予定）

開催場所 大分県玖珠町伐株山



下草刈りの様子

## ■ 構成団体・水源地域の主なイベント 【お出かけください】

### 6月, 7月の予定

- **エツ漁解禁〔5/1（火）～7/20（金）久留米市城島町〕と第15回城島エツ祭〔6/24（日）〕**  
（公益財団法人久留米観光コンベンション国際交流協会からイベント情報が提供されましたのでお知らせします。）

エツは、カタクチイワシ科の魚で、国内では有明海にのみ生息し、晩春から初夏にかけて産卵のため筑後川下流域に遡上してきます。希少な魚であるため、漁の解禁は5月1日～7月20日と決められています。

「エツ祭（エツッサイ）」は、エツ漁の最盛期である6月下旬に毎年開催されます。エツの骨切りや投げ網が体験できます。また、エツの唐揚げやエツバーガーの販売もあります。

この時期にだけ味わうことができる貴重な郷土料理を、ぜひ味わってみてください。

日 時 平成30年6月24日（日）10:00～15:00

※ 小雨決行

開催場所 久留米市城島町六五郎橋河川敷公園

問い合わせ先 エツ祭実行委員会 TEL 090-8830-8267



エツ



エツ漁の様子

#### ※ エツの言い伝え

昔、旅の僧侶（弘法大師）が筑後川を渡れずに困っているのを見て、川辺の貧しい漁師が親切に対岸まで渡してあげました。僧がお礼にヨシの葉を川面に投げこむと、それがエツになったそうです。

城島町では、「エツ大師堂」を建てて、弘法大師を手厚く祀り、エツの恵みに感謝をしています。

## ●山田堰通水式〔6/17（日） 朝倉市水神社〕

（朝倉市からイベント情報が提供されましたのでお知らせします。）

山田堰は、筑後川の水を斜めにせき止めた「傾斜堰床式石張堰」で、筑後川から取水し、約 650ha もの水田に導流させるための建造物です。

「堀川用水」は、山田堰から取水した水を農地に送るための農業用水路で、本線約 11 kmにも及びます。

また、日本最古の実働する水車として全国的にも有名な「朝倉の揚水車群」は、現在「三連水車」1基と「二連水車」2基が稼働しており、かんがい面積は合計約 35ha になります。回る水車は、6月17日～10月中旬だけ見ることができます。

「堀川用水」と「朝倉の揚水車群」は、平成2年に国の史跡に指定されました。

当日は、水神社で神事が行われ、その後、境内地下にある水門が開門します。15分ほどかけて約2km離れた水車群に水が到達し、夏の風物詩である朝倉の揚水車群が回り始めます。

水神社で行われる山田堰通水式はどなたでも参加できます。

ぜひお越しください。

日 時 平成30年6月17日（日）9:30～

開催場所 水神社（朝倉市山田 161）

問い合わせ先 山田堰土地改良区 TEL 0946-52-0531



山田堰



三連水車

## ●甘木祇園山笠〔7/13（金）～15（日）朝倉市甘木〕

（朝倉市からイベント情報が提供されましたのでお知らせします。）

約300年の伝統を持つ須賀神社の祇園祭は、夏祭りの一環として行われており、慶長から江戸初期にかけて起源があります。

そもそもは疫病流行に際し、神輿を造り、御神体を遷して町中を練りまわしたことが始まりといわれています。

山笠神事は、7月1日のお汐井取りに始まり、13日には子どもの樽神輿が町中を練り歩き、15日には「追い山」が町中を威勢よく曳まわります。高さ3mの曳山笠（台車の付いた山）2台の勇壮さは圧巻です。

7月10日からは境内に高さ10m余りの飾り山が公開され、祭り気分を盛り上げます。

日 時 平成30年7月13日（金）～15日（日）

・10日（火） 飾り山公開

・13日（金）14:30～ 子ども樽神輿

・15日（日）14:00～ 追い山

開催場所 須賀神社（朝倉市甘木 842）

問い合わせ先 須賀神社 TEL 0946-22-2249



●<sup>くぐみや</sup>久喜宮 祇園山笠〔7/15(日)朝倉市杷木〕

(朝倉市からイベント情報が提供されましたのでお知らせします。)

元禄八年(1695年)に初めて山笠が作られ、毎年地元の方々により輪番で祭られています。

祭りの形態としては、先頭に獅子、次に神輿、最後に山笠となっており、珍しいものです。

日 程 平成30年7月15日(日)

開 催 場 所 杷木須賀神社  
(朝倉市杷木若市 2759番)

問い合わせ先 朝倉市商工観光課

TEL 0946-52-1428



●調音の滝 滝開き〔7/15(日)うきは市妹川〕

(うきは市からイベント情報が提供されましたのでお知らせします。)

江戸時代、久留米藩主の奥方が立寄られ、滝をながれる水の音が流音余韻を残し、天然のメロディを奏でるかのように聞こえたことから「音の調べ」すなわち「調音の滝」と名づけられたと言われています。また、崖上から「いろは」の文字を描くように水が流れ落ちることから別名「いろは滝」とも呼ばれています。

滝壺から涼しい風が吹きあげます、天然のクーラーで涼を感じませんか。

日 程 平成30年7月15日(日)

※流水プールは7月21日(土)~8月31日(金)

場 所 うきは市浮羽町妹川県道52号線沿い

問い合わせ先 うきは市観光協会 TEL 0943-77-5611



## ●老松様の麦餅つき祭り〔7/15（日）日田市中津江村〕

（日田市からイベント情報が提供されましたのでお知らせします。）

ふんどし姿の氏子たちが榎の木の長い棒を使って勇壮に麦餅を突き上げていく、迫力のあるお祭りです。

【老松様の麦餅つき祭りとは？】

始まりは鎌倉時代。三国山のふもとにある <sup>おにのどう</sup> 鬼ノ洞 に凶暴な賊が住んだのがことの始まりです。彼らは村々を荒らし、村人が征伐に向かっても討つことができませんでした。村人たちが西国受領の <sup>おおとち よしなお</sup> 大友 能直 にこのことを訴えると、そこで討伐を命じられた <sup>はせべ</sup> 長谷部 <sup>むねとし</sup> 宗俊 が、宮園神社に戦勝祈願をして討伐に向かいます。そして激しい戦いの末に賊の大將を討ち、めでたく凱旋したのです。

この戦勝は宮園神社の御加護によるものであると、社頭でお祭りをし、戦闘の状況を模して餅つきを行ったのが、天福元年（1233年）7月15日のことでした。

それからというもの五穀豊穰、家内安全、無病無災を祈念したお祭りとして行われ、昭和10年頃からは、新暦の7月15日に行われるようになり、約800年間も続く伝統行事となっています。

日 程 平成30年7月15日（日）  
開 催 場 所 宮園津江神社（日田市中津江村）  
問い合わせ先 日田市中津江振興局 TEL 0973-54-3111



## ●吉井祇園祭〔7/21（土）・22（日）うきは市吉井町〕

（うきは市からイベント情報が提供されましたのでお知らせします。）

見事な飾り山笠や祇園囃子、夜店等でにぎわう夏の一大風物詩です。

高さ約10mの勇壮華麗な山笠が建ち、人々が祇園囃子の調べに誘われて、夏の夜の涼を楽しめます。

皆様、お誘い合わせのうえ、是非お越しください！！

日 程 平成30年7月21日（土）  
～7月22日（日）

おみこしの出発 13:30～

開 催 場 所 祇園神社、白壁交流広場（うきは市吉井町）  
問い合わせ先 うきは市観光協会 TEL 0943-77-5611



## ●日田祇園祭〔7/21（土）・22（日）日田市 隈・竹田，豆田地区〕

（日田市からイベント情報が提供されましたのでお知らせします。）

約 300 年の伝統を誇る日田の夏の伝統行事。疾病や風水害を払い、安泰を祈念するこの祭りでは、絢爛豪華な山鉾が祇園囃子の音色とともに、隈・竹田地区，豆田地区の街並みを巡行します。

また、夜には提灯を飾り付けた優雅な「晩山」の巡行で、祭りは一気に最高潮に達します。

日 程 平成 30 年 7 月 21 日（土）

～7 月 22 日（日）

開 催 場 所 日田市 隈・竹田地区・豆田地区

問い合わせ先 日田祇園山鉾振興会 TEL 0973-24-6453



ユネスコ無形文化遺産

## ※日田祇園山鉾集団顔見世〔7/19（木）JR日田駅前〕

隈・竹田地区 4 基，豆田地区 4 基，平成山 1 基，あわせて 9 基の山鉾が JR 日田駅前に一堂に会します。

提灯を灯した「晩山」で開催される華麗な光景は必見です。

日 時 平成 30 年 7 月 19 日（木）19:00～

開 催 場 所 JR 日田駅前

問い合わせ先 日田市観光課 TEL 0973-22-8210



## ●筑後川温泉花火大会〔7/28（土）うきは市浮羽町〕

（うきは市からイベント情報が提供されましたのでお知らせします。）

毎年 7 月 28 日に開催されている筑後川温泉花火大会。

約 3,000 発の花火が夏の夜空を彩ります。ふれあい広場では、ステージイベントやたくさんの夜店が出店されます。楽しい夜のひとときをお過ごしください。

日 時 平成 30 年 7 月 28 日（土）

18:00～ お祭り広場

20:00～ 花火打上げ

※ 雨天の場合，29 日（日）に延期。

開 催 場 所 うきは市浮羽町大石放水路（筑後川温泉南側）

問い合わせ先 筑後川温泉花火大会実行委員会（うきは市うきはブランド推進課）

TEL 0943-76-9059



## ■ 知ってる！？ 筑後川のはなし

このコーナーでは、筑後川について、より知識を深め、親しんでいただくために、筑後川流域の観光、イベント、特産物、史跡などの情報を掲載しています。

今回は、神埼市の「三千石堰と横落水路」を紹介します。

三千石堰は今から約400年前に佐賀平野の慢性的な水不足地帯に城原川<sup>じょうぼるがわ</sup>から水を送るために佐賀藩の武士成富<sup>なりとみひょうご</sup>兵庫茂安によって築かれた堰で、取水された水は約6kmの横落水路に導かれ水田へ供給されます。

この堰は、下流の取水を妨げないように三か所の「水のがし」が設けられ、そこから漏水させて下流に流すようになっています。

また、城原川には「野越し」と呼ばれる二重堤防を築き、堤防の一部を低くすることで洪水時にはある程度水を越流させ、後方の「受堤」で止めて、やがて川に落ちるような仕掛けが設けられています。

三千石堰の名は、この地方を納めていた領主は一万石の領地をあたえられていたが「領地の面積は広くても良田が少なく、石高は三千石」と自称していたことから三千石堰と呼ばれるようになったそうです。

城原川は自然を利用した治水や利水のしくみを今でも見ることができる貴重な川になっています。

<総務部 山北>

※三千石：450t（1石＝10斗＝100升 1升＝1.5kg）



三千石堰横の横落水路



水のがしが設けられた三千石堰



### ○三千石堰への交通・アクセス

車の場合 長崎自動車道 東脊振 ICより県道31号線経由で約20分（約6km）

## 水 源 情 報

企業団ホームページの【水源情報】は、毎日（土日祝を除く。）最新情報に更新しています。

福水企

検索

アドレスをクリックすると、  
【水源情報】が載っています  
ので、見てね！！



- ・企業団ホームページ【水源情報】アドレス

<http://www.f-suiki.or.jp/waterquality-info/water-info/>



## 編 集 後 記

6月は多くの地域で田植えの最盛期を迎えますが、昨年7月の九州北部豪雨の被災地では、土砂などの撤去や水路の復旧が進まず、田植えを断念しなければならないところがあると報道されています。

豪雨の影響で川の護岸がえぐられたりしていますが、ホテルが見られる地域はたくさんあるそうです。

鉄道も大きな被害を受け、JR 日田彦山線の添田－夜明間は運行再開の見通しが立っていないようですが、JR 久大線の光岡－日田間は7月14日に運転再開予定と明るいニュースも伝えられています。

来年こそは田植えができ、各地で復旧が進むことを祈念いたします。

<老ライダー>

### ★ 構成団体の皆さまからの情報をお待ちしています！！

「ふくすいき～福水企～」通信では、今後も構成団体の皆さまの声や意見を掲載していきたいと思っています。

皆さまの周りでも、お知らせしたいことや紹介したい取り組み、イベント情報、また感想、ご意見などありましたら、ぜひ、ご連絡ください！！

よろしくお願いします。

～ 情報を提供していただく場合 ～

掲載希望前月の末日までに、原稿を下記へメール送信してください  
福岡地区水道企業団総務課交流広報係 kouhou@f-suiki.or.jp

たくさんの情報提供を  
お待ちしております！！



## 牛頸浄水場と海の中道奈多海水淡水化センターを見学しませんか。

### ○ 牛頸浄水場（九州最大級の浄水場）

#### ○所在地

〒816-0971 大野城市牛頸一丁目1番1号

#### ○見学日

・月曜日から金曜日（祝日、年末年始期間を除きます）

○TEL 092-596-5021 FAX 092-595-3065



牛頸浄水場急速ろ過池

### ○ 海の中道奈多海水淡水化センター（日本最大規模の海水淡水化施設）

#### ○所在地

〒811-0204 福岡市東区大字奈多 1302 番 122

#### ○見学日

・月曜日から金曜日

・毎月第3日曜日

・水道週間（6/1～6/7）期間内の土曜日と日曜日  
（祝日、年末年始期間を除きます）

○TEL 092-608-6262 FAX 092-608-6256



海水淡水化センター施設内部

### ○ 企業団HPで各施設の予約状況を確認することができます。

見学を希望される場合は、7日前までに電話で予約のうえ、書面による申込み（FAXまたは郵送）をお願いします。

### ※ 施設見学の予約状況の確認、申込書（様式例）のダウンロードはこちら

<http://www.f-suiki.or.jp/facility/facility-guides/>

福岡地区水道企業団では、企業団ホームページやSNS（Facebookページ、Twitter）を通じて、企業団が行う事業や取り組み、水源地域や流域で行われるイベント等をわかりやすくタイムリーに情報発信しています。

ホームページの記事やSNSで発信した情報について、面白い、役に立ったなどと思ってくださった方は、ぜひ、SNSの機能（リツイートやシェアなど）を使って、多くの方に情報を届けていただければ幸いです。

福岡地区水道企業団HP

<http://www.f-suiki.or.jp/>

福水企

検索



福岡地区水道企業団 Facebook ページ



福岡地区水道企業団 YouTube ページ



福岡地区水道企業団

